

栃木県立博物館評価シート（平成30年度実績）

1. 定量的評価

評価基準 A:達成度100以上 B:99～80 C:80未満

分野	評価項目	目標値(a)	達成度 (b/a×100)	評価	備考
		達成値(b)			
利用状況	年間入館者数	120,000 人	191.4	A	
		229,715 人			
	レファレンス件数	800 件	120.4	A	
		963 件			
展示	企画展開催回数	3 件	100.0	A	
		3 件			
	展示室利用率	75 %	125.6	A	
		94.2 %			
	来館者満足度	80 %	114.6	A	
		91.7 %			
普及教育	講座等開催回数	150 件	180.7	A	
		271 件			
	地域移動博実施回数	7 件	128.6	A	
		9 件			
	学校来館数	165 件	93.3	B	
		154 件			
資料の活用	資料貸出件数	140 件	140.0	A	
		196 件			
	データベース公開件数	340,000 件	101.9	A	
		346,467 件			
調査研究	研究論文・研究報告書等件数	35 件	168.6	A	
		59 件			
	研究発表件数	25 件	156.0	A	
		39 件			
情報の発信	報道機関取材件数	30 件	233.3	A	
		70 件			
	ホームページアクセス件数	270,000 件	155.9	A	
		421,035 件			

2. 定性的評価

目標値: チェックリスト評価項目の数 × 3

達成値: チェックリスト評価aの数 × 3 + bの数 × 2 + cの数

評価基準 A: 達成度100~90 B: 89~80 C: 80未満

評価項目		目標値(a)	達成度 (b/a × 100)	評価	備考
		達成値(b)			
資料の収集・保管	資料の収集	15	93.3	A	
		14			
	資料の保存管理	24	83.3	B	
		20			
調査研究		12	100.0	A	
		12			
展示・普及教育活動	常設展示	12	100.0	A	
		12			
	企画展・テーマ展等	12	100.0	A	
		12			
	普及教育活動	18	100.0	A	
		18			
施設の計画的な整備・維持管理		24	87.5	B	
		21			
情報の発信と公開		21	100.0	A	
		21			
県民参加		15	100.0	A	
		15			
効果的・効率的な管理運営		12	100.0	A	
		12			
中核的博物館としての機能充実		24	100.0	A	
		24			

定性的評価項目チェックリスト

a: おおむねできている b: ある程度できている c: 不十分

大項目	中項目	チェック内容	評価
1 資料の収集・保管	(1) 資料の収集	① 必要な資料収集が行われているか	b
		② 館が定めた中・長期的な収集方針に基づき資料収集が行われているか	a
		③ 客観的な評価を経て購入・受け入れをしているか	a
		④ 収集資料の燻蒸・クリーニングが適切に行われているか	a
		⑤ 標本作成途中の資料の管理が適正に行われているのか	a
	(2) 資料の保存管理	① 資料の収蔵スペースは確保されているか	c
		② 資料の収蔵環境は適正に管理されているか	b
		③ 有害生物のモニタリングを実施し、その結果に基づき適切な対処をしているか	a
		④ 資料の修復や保存処理等の措置を必要に応じて行っているか	b
		⑤ 借用資料・寄託資料の更新手続きは適正に行われているか	a
		⑥ 資料台帳・データベースが整備・更新されているか	a
		⑦ 収蔵庫の入退室管理簿が整備されるとともに、適正に管理されているか	a
		⑧ 収蔵庫の鍵が適正に管理されているか	a
2 調査研究	① 学芸員個々の専門分野についての調査研究に取り組んでいるか	a	
	② 調査研究活動を遂行するために必要な専門研修に参加しているか	a	
	③ 調査研究の経過や成果を、さまざまな媒体・方法(著作物、展示、講演、研究発表等)で公開しているか	a	
	④ 調査研究の成果を、国、県、市町村、地域社会等にさまざまな形で還元しているか	a	
3 展示・普及教育活動	(1) 常設展示	① 展示資料等が適宜点検されているか	a
		② 展示情報が適宜修正・更新されているか	a
		③ 展示設備等が適宜点検・整備されているか	a
		④ 展示解説等が適宜実施されているか	a

3 展示・普及教育活動	(2) 企画展・テーマ展等	① 県民ニーズや時代の要請を踏まえて、企画展・テーマ展等を開催しているか	a
		② 調査研究成果の蓄積や、最新の学術情報を反映した企画展・テーマ展等を開催しているか	a
		③ 模範的、先進的な展示手法を用いた企画展・テーマ展等を開催しているか	a
		④ 中・長期的な企画展の開催計画を策定しているか	a
	(3) 普及教育活動	① 多様な参加者を想定したプログラムが用意されているか	a
		② 学校教育活動との連携を図っているか	a
		③ 教員指導者向けの支援・育成プログラムを実施しているか	a
		④ 事業実施にあたり参加者の安全が配慮されているか	a
		⑤ 来館者用の図書・情報コーナーを整備しているか	a
		⑥ 学芸員実習や職場体験の学生・生徒を受け入れ、適切に指導しているか	a
4 施設の計画的な整備・維持管理	① 施設の維持・改善についての計画を策定しているか	b	
	② 危機管理マニュアルを整備し職員に周知しているか	a	
	③ 緊急事態に対応できるよう、消防・避難等の訓練を定期的実施しているか	a	
	④ 休憩コーナー、授乳コーナーの設置や車椅子の貸し出し等、来館者が快適に観覧できる環境が整っているか	a	
	⑤ 手すり、点字ブロックなど、バリアフリー化への取り組みがなされているか	a	
	⑥ 利用情報や館内サインはわかりやすく表示されているか	a	
	⑦ 館内サインの英文表記など国際化への対応はとられているか	a	
	⑧ 利用者数に見合った駐車場が確保されているか	c	
5 情報の発信と公開	① 館の使命をわかりやすい言葉で明文化し、ホームページなどで公開しているか	a	
	② 年報、要覧などを通して、事業実績や(目標の達成状況、)財務など、館の運営状況を公開しているか	a	
	③ 展示・普及教育事業情報が利用者に広く発信されているか	a	
	④ 収蔵資料の館外貸し出しに適切に対応しているか	a	

		⑤ 収蔵資料の特別利用(熟覧・撮影等)に適切に対応しているか	a
		⑥ 二次資料(写真等)の特別利用(原板使用等)に適切に対応しているか	a
		⑦ 資料のデータベースを公開・更新しているか	a
6 県民参加		① ボランティア活動が活発に行われているか	a
		② ボランティア研修が適切に実施されているか	a
		③ 友の会、研究団体、文化団体等が館事業に参加する機会を設けているか	a
		④ 施設利用のための情報が公開されているか	a
		⑤ オープンスペースを有効に活用しているか	a
7 効果的、 運営、 効率的な管理		① 館として中長期的な経営目標を定め、職員に周知しているか	a
		② 館の事業や業務に関して、意思決定のための会議を定期的に行っているか	a
		③ 事業面、管理運営面など全般にわたる自己評価を実施しているか	a
		④ 事業面、管理運営面など全般にわたる外部評価を実施しているか	a
8 中核的博物館としての機能充実		① 公開承認施設として資料を公開しているか	a
		② 県内の博物館職員を対象とした研修会・見学会等を実施しているか	a
		③ 県内の博物館施設を対象とした協力・支援・連携事業を実施しているか	a
		④ 県外博物館施設との相互協力事業を実施しているか	a
		⑤ 地方自治体や各種組織に専門的な立場で助言・情報提供を行っているか	a
		⑥ 大学、高校等の教育機関への寄与・貢献を行っているか	a
		⑦ 県内外の学会、研究会等の運営に寄与・貢献しているか	a
		⑧ 栃木県博物館協会の中心館として機能しているか	a

3. 年度内に取り組んだ重点事業・新たな取り組み等

事業の概要	<ul style="list-style-type: none">・とちぎ版文化プログラムリーディングプロジェクト事業、企画展「とちぎの技・匠」の開催 東京オリンピック・パラリンピックに向けて本県の魅力ある文化の発信、地域活性化に繋げる事業として、統一テーマ「技・匠」に基づき、ユネスコ無形文化遺産「結城紬」と国選定保存技術に認定された日光社寺文化財保存会の「建造物漆塗」の紹介のほか、各分野の伝統工芸品の展示・実演・体験等の企画展を開催した。・企画展、テーマ展の開催 企画展「レッドデータブックとちぎ2018」や企画展「藤原秀郷」をはじめ、学芸員の調査研究に基づく企画展やテーマ展を開催し、本県の自然・歴史・文化の魅力や特色を広く県民等に情報発信を行った。・普及教育事業の推進 市町や学校等と連携しながら、地域における移動博物館や出前授業・観察会の実施など、普及教育事業を積極的に推進したほか、県有バスを利用した小規模小学校の来館促進事業を実施した。・各種メディアを活用した情報発信 ホームページやフェイスブック等を活用し、行事イベントやボランティア活動に加え、新たに「顔の見える博物館」として学芸員の職員紹介等の情報発信を行ったほか、取材や新聞コラム欄への定期的な執筆活動等を通して、調査研究に係る情報発信を積極的に行った。・県立博物館の日イベントの実施 県民に親しまれ、開かれた博物館を目指して、毎月第3日曜日を「県立博物館の日」とし、学校や関係団体等の協力を得ながら各種イベントを実施した。・新収蔵庫棟の整備 令和3(2021)年4月の供用開始に向け、旧車庫棟の解体工事に引き続き、新収蔵庫棟建築工事に着手した。
事業の成果	<ul style="list-style-type: none">・「とちぎの技・匠」をはじめ、特色ある企画展・テーマ展等の開催により、県民をはじめ広く、本県の歴史・文化や自然の魅力・特色についての紹介・普及に努め、各種メディアを活用した情報発信を積極的に行った結果、前年に比し、全体の入館者が増加した。(H29: 212,782人→H30: 229,715人、16,933人増)・地域移動博物館や出前授業等の実施により、市町や学校との連携強化に努めた結果、前年に比し、移動博物館等での入館者が大幅に増加した。(H29: 116,319人→H30: 145,240人、28,921人増)・「県立博物館の日」は実施開始から5年、「県博デー」として定着し、協力団体の関係者等をはじめ、多くの入館者(平均878人)を確保するなど、「県民にとって開かれた親しみやすい博物館」として一定の効果を上げている。・新収蔵庫棟整備については、旧車庫棟の解体に引き続き、新収蔵庫棟建築工事に着手するとともに、駐車場の収容台数増の検討も行うなど、収蔵環境や駐車場の改善等に向けた作業を進めている。

4. 総合評価

目標値：評価項目の数×3
 達成値：評価aの数×3+bの数×2+cの数

評価の種類(項目数)	A評価	B評価	C評価
定量的評価(14項目)	13	1	0
定性的評価(11項目)	9	2	0
総合評価	96.0% [達成値/目標値: ((13+9)×3+(1+2)×2)÷((14+11)×3) = 72÷75 = 0.960]		

5. 自己評価総括

評 価	<p>「定量的評価」については、「学校来館数」が目標値を若干達成できていないが、その代わりに出前授業等講座数が大幅に増となっていること、「定性的評価」については、「資料の収集・保管」「施設の計画的な整備・維持管理」の2項目で目標値を若干下回ったものの、新収蔵庫棟の整備等着実に進めていることから、概ね 適正な運営であったと認められる。</p> <p>今後は駐車場の確保等利用者対策、老朽化した施設の計画的更新などの課題について、関係部局と協議・連携のうえ、具体的な対応が求められる。</p>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の収集・保管に係る収蔵スペースの確保及び収蔵環境の改善 ・来館者用駐車場の確保 ・老朽化した施設の計画的な更新 ・ボランティア活動の活性化 ・博学連携の推進 ・先進技術の活用等、時代のニーズを踏まえた入館者数・利用者数の増加策
対 応 の 方 向	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵スペースの確保及び環境の改善については、新収蔵庫整備工事を計画どおりに竣工させ、令和3(2021)年度の供用開始に向け、関係機関と調整を図りながら、資料搬入や空気環境調整等の作業を着実に進めていく。 ・来館者用駐車場の確保については、まずは博物館北駐車場の再開に当たり、可能な限り収容台数増を図る。 ・施設の計画的な更新については、現況や優先度を踏まえ、関係部局と協議・連携しながら、予算の確保に努めていく。 ・ボランティア活動の活性化については、ボランティアの意向も踏まえながら、主体的な活動ができるよう環境の改善を図り、研修の充実、ICTを活用した情報発信等を積極的に行っていく。 ・博学連携については、さらなる各事業の内容の拡充や広報に努め、学校の来館数増を図っていく。 ・入館者数・利用者数の増加策については、先進技術の活用等、時代や県民のニーズを踏まえながら、魅力的な企画と展示、学校・地域との連携等各種事業の充実に努めていく。

6. 博物館協議会総括

協議会の意見	<p>平成30年度の博物館の運営の状況については、概ね適正に運営されたと判断される。 しかしながら、次の事項については、博物館本来の使命や県民サービス、県民との協働等、博物館運営に関わる大きな課題であることから、対応策を検討すること。</p> <ol style="list-style-type: none">1 駐車場の確保や老朽化した施設の更新等ハード面の計画的な整備に加え、博物館事業の基礎となる調査研究、資料の収集や修復・保存処理等の事業の重要性を十分に踏まえ、関係部局と協議・調整を進めるとともに、積極的な予算の確保に努めること。2 博学連携の更なる強化を図るため、参加型の展示やイベントの企画等、学校の参加機会の拡充に努めるとともに、特に中学生以上の利活用促進に向けた取組を推進すること。3 入館者増を図るため、時代のニーズに応じたバーチャル技術等を活用した魅力ある展示の企画・導入について、積極的に推進すること。 <p>また、次の事項について検討すること。</p> <ol style="list-style-type: none">1 スロープ展示ほか、常設展示の更新ならびに展示手法。2 博物館評価における目標値の変更、見直し。
--------	---